

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用知覚過敏抑制材料（70926000）
（歯面コーティング材（70861002）、歯科表面滑沢硬化材（34771000）、歯科接着・充填材料用表面硬化保護材（70858000））

ジーシー Gーガード

【禁忌・禁止】

- メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状：液状（4 mL・ボトル入り）**

主成分：多官能メタクリレート、メチルメタクリレート、リン酸エステルモノマー、シリカ微粉末、光重合開始材

原理

歯質表面又は歯科修復物表面に塗布し、光照射によりメタクリル酸エステルを重合・硬化させて被膜を形成させる。

【使用目的又は効果】

- 象牙質又は形成象牙質の知覚過敏の抑制に用いる。（ただし、歯科充填修復処置及び歯科補綴修復物の装着を目的として形成した歯面は適用外とする）
- 歯牙の表面のコーティングに用いる。（ただし、歯科充填修復処置及び歯科補綴修復物の装着を目的として形成した歯面は適用外とする）
- 歯科修復物表面の滑沢化又は硬化に用いる。
- 歯科充填用グラスポリアルケノエート系レジンセメント、歯科充填用グラスポリアルケノエートセメントの表面の硬化保護に用いる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- サボライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

【使用方法等】

- 知覚過敏の抑制に用いる場合
 - 適用部位の清掃
適用部位に唾液が付着している場合は、可能な限り綿球などで拭き取ります。また適用部位にプラークが付着している場合には、綿球などでこすり取ります。適用部位の唾液、プラーク除去後、水洗・乾燥します。乾燥時、エアブローで知覚過敏症状を患者が訴える場合には、綿球により水分除去を行います。
 - 本品の採取・塗布
本品を採取皿（例えばディスポディッシュなど）に採取し、マイクロチップアプリーケーターなどを用いて適用部位に薄く塗布します。*
 - 光照射
＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**
 - 再処置
リコール時などに再度塗布を行う場合は、綿球などにより表面の清掃を行った後に本品を塗布し、＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**
- 歯面のコーティングに用いる場合
 - 適用部位の清掃
適用部位に唾液が付着している場合は、可能な限り綿球などで拭き取ります。また塗布面にプラークが付着している場合には、PTC（プロフェッショナル トゥース クリーニング）により清掃を行います。適用部位の唾液、プラーク除去後、水洗・乾燥します。
 - 本品の採取・塗布
本品を採取皿（例えばディスポディッシュなど）に採取し、マイクロチップアプリーケーターなどを用いて適用部位に薄く塗布します。*
 - 光照射
＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**

（4）再処置

リコール時などに再度塗布を行う場合は、PTC（プロフェッショナル トゥース クリーニング）により表面の清掃を行った後に本品を塗布し、＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**

3）歯科修復物表面の滑沢化又は硬化に用いる場合

（1）適用材料の充填、硬化、研磨

適用材料の添付文書の使用 방법에従い、充填、硬化させます。通法に従い、ダイヤモンドバー（ジーシー スムースカットなど）を用いて形態修正・研磨します。既に口腔内に存在する歯科修復物に適用する際は、一層表面をダイヤモンドバー（ジーシー スムースカットなど）を用いて切削し、新鮮面を露出させます。

（2）本品の採取・塗布

塗布面を水洗・乾燥します。本品を採取皿（例えばディスポディッシュなど）に採取し、マイクロチップアプリーケーターなどで口腔内修復物に薄く塗布します。*

（3）光照射

＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**

（4）再処置

リコール時などに再度塗布を行う場合は、PTC（プロフェッショナル トゥース クリーニング）により表面の清掃を行った後に本品を塗布し、＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**

4）歯科充填用グラスポリアルケノエート系レジンセメント、歯科充填用グラスポリアルケノエートセメントの表面の硬化保護に用いる場合

（1）歯科充填用グラスポリアルケノエートセメントの充填

適用材料の添付文書の使用 방법에従い、歯科充填用グラスポリアルケノエートセメントを窩洞に充填し概形を形成します。*

（2）本品の採取・塗布

付形後、採取皿（例えばディスポディッシュなど）に採取した本品をマイクロチップアプリーケーター等で薄く塗布します。*

（3）光照射

＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞に記載している条件にて光照射を行い、本品を硬化させます。**

（4）形態修正及び研磨

適用材料の添付文書の使用 방법에従い硬化させた後、必要に応じて通法に従い注水下で咬合調整及び形態修正を行います。*

＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞**

歯科重合用光照射器	照射時間
ハロゲンランプ 歯科重合用光照射器	20 秒
LED 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上) ※1	20 秒

- ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長が 400～515 nm
- LED 歯科重合用光照射器：発光スペクトルのピークトップが 450～480 nm
- 照射時間の目安は、お使いになる歯科重合用光照射器の使用説明書を確認の上使用します。

※1：例えば

Gーライト プリマII P l u s 10 モード (10 秒×2 回)
スリムライト Lowモード (10 秒×2 回)

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- 1) 本品塗布前の充填修復物の研磨面仕上げには、ダイヤモンドバーを使用すること。(滑沢な面に塗布した場合、耐久性が劣る場合があります。)
- 2) エアーシリンジなどを使用して、充填修復物の表面及び歯面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミストなど接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。
- 3) マイクロチップアプリーケーター使用時は、マイクロチップアプリーケーターが口腔内で脱落しないように、使用前に確実にチップホルダーに装着されていることを確認すること。またマイクロチップアプリーケーターなどの塗布具は、患者間で交差使用しないこと。
- 4) 万一塗布面に唾液が付着してしまった場合には、再度水洗・乾燥から処理を行うこと。
- 5) 本品は揮発成分を含むことから、塗布直前に採取すること。(ディスポディッシュを使用する場合は、採取後2分以内に塗布すること。ディスポディッシュ以外の採取皿を使用する場合は、採取後1分以内に塗布すること。)
- 6) 本品は 21～25℃の室温で使用することを想定しているので、室温が高くなると操作時間が短くなるので注意すること。
- 7) 本品塗布時は、エアーブローを行わないこと。〔成分の揮発によって十分に硬化しない場合がある〕*
- 8) 无影灯の光により操作時間が短くなるので、適用の際は必要に応じて无影灯を減光する、又は消すこと。
- 9) 表面硬化性は歯科重合用光照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。*
- 10) 本品は揮発成分を含むことから、塗布後は速やかに光照射を行って硬化させること。
- 11) 光照射の条件によって表面にベタつきが残る場合には、表面のベタつきがなくなるまで照射時間を延長すること。
- 12) 塗布面が広い場合には、数回光照射を行い、塗布面全体を光照射すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品および類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に使用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ②本品が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないように充分注意すること。歯肉(歯肉縁下を含む)、口唇など粘膜面に付着すると炎症(白変、水疱など)を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること。(ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします。)口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球などで拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また、皮膚に付着した場合にはすぐに石鹸で洗浄すること。歯肉などに付着した場合には、すぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。炎症(白変、水疱など)を起こした部位には、ブラッシングなどの物理的刺激を与えないように患者へ説明を行うこと。また、万一、目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。
 - ③本品の未硬化物は、直接素手で触れないこと。未硬化物に触れる場合は、接触による過敏症を防ぐために、プラスチック手袋、ゴム手袋などを着用すること。
 - ④本品は揮発成分を含有するため、使用する際は適切な換気(1時間当たり数回の換気)がなされている場所で使用すること。
 - ⑤本品は揮発成分を含有することから、適用時は鼻呼吸するように患者に指導すること。
 - ⑥本品が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
 - ⑦光照射の際は保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。〔目を痛める恐れがあるため〕
 - ⑧本品は揮発成分を含有することから、使用后すぐに容器を密栓すること。
 - ⑨ノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。また、ノズルが破損する場合があるのでキャップ装着時はまっすぐに装着してから締めること。

- ⑩本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また高温となる場所、直射日光の当たる場所に置かないこと。
- ⑪本品の誤飲には充分注意すること。
- ⑫他の製品と混用しないこと。〔本品の特性が得られないため〕
- ⑬本品は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑭本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

- 3) 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)
 - (1) 〔併用禁忌〕(併用しないこと)

- ①ユージノール系製剤は、本品の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。

- 4) その他の注意

- (1) 本品は塗布面に薄膜を形成して機能する製品ですが、口腔内環境下に曝された状態で機能するため、咬合又は歯ブラシなどにより経時的に摩耗します。リコール時などに、塗布部位における本品の効果の持続性が失われていることが確認された場合には、必要に応じて再処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- 1) 直射日光、高温多湿を避けて、冷暗所で保管する。一つの保管庫に大量に保管しない。
- 2) 使用及び保管場所には、消火装置を備える。
- 3) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

〔有効期限〕

本品は、包装に記載の使用期限までに使用する。

※(例 EXP. 2027-02 は
使用期限2027年 2月 を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480